

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

長浜市立木之本小学校 講師 藤井 慶紀

1. 単元名 「木のっこ百景を作ろう ～未来に残したい木之本の風景～」

2. 単元の目標

- ・木之本地区にあるもののもつ魅力を理解し、ICTを活用して調べたことを分かりやすくまとめることができる。 (知識・技能)
- ・木之本地区にあるものの魅力を、自分なりの言葉で表現する。(思考・判断・表現)
- ・木之本地区にあるものに関心を持ち、魅力を発見し、それを未来へ伝え残していこうとする態度をもつ。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本校は木之本地蔵院の東に位置する。校区を北国街道が貫いていることもあり、校区内に多くの登録有形文化財を有する。また、2020年に杉野小中学校と木之本小学校、木之本中学校が統合したことで校区が広がり、豊かな自然環境や歴史環境などに恵まれた地域と言える。

本単元では、杉野中学校で製作された「杉野百景」を教材として取り上げる。2016年から4年間に渡って取り組まれた「杉野百景」は、歴史的価値の高い文化財や、地域でおこなわれてきた祭、なじみの深い建物などを登録した、杉野地区の人々の大切に守っていききたいという思いが込められたものになっている。同じように木之本の魅力を探し伝え合う活動を通して、未来に伝えていくために自分ができることは何があるかと考えを深めていきたい。

(2) 児童観

本学年の児童は、第3学年の社会科の学習で、地域で何年も営業を続けている商店や寺院などを見学し、校区の探検マップを作る活動をしている。また、杉野地区への校外学習も実施しており、木之本小学校区の歴史的な価値や杉野地区の自然の豊かさなどの魅力、地域のもつ課題に気づいている。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、「杉野百景」に登録されたものもいくつかすでに無くなっていること、無くなったものも「杉野百景」という形で残っていること、魅力のあるふるさとの姿を残すいろいろな方法があるということに気づかせ、自分たちにできることを考えるきっかけになるようにする。

本学習で再発見した木之本の魅力を「木のっこ百景」にまとめる活動を通して、自分た

ちが木之本の魅力を伝え残していくという意識をもたせる。

(4) ESD との関連

○本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・多様性：木之本には、歴史的価値のある建物や文化、大切にしていきたい自然などがたくさんある。
- ・有限性：長く大切に守られてきたものや風景も、いつかはなくなったり変わったりするかもしれない。
- ・責任性：木之本の素晴らしい歴史や文化、美しい自然などを伝えていくために自分たちができることを考えていく必要がある。

○本学習で育てたい ESD の資質・能力

- ・批判的に考える力

自分にとっては当たり前景色であっても、他の人にとってはそうでない、とても大事なものかもしれない。何年後には無くなってしまふかもしれない。

- ・他者と協力する態度

他者と共に、地域の自然や風景を守るためにできることを考える。

○本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・世代間の公正

魅力のある木之本を、自分たちの世代だけでなく未来に残していけるように、考え行動する。

○達成が期待される SDGs

- 1 1 : まちづくり
- 1 3 : 気候変動
- 1 5 : 陸の豊かさ

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・能力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①木之本地区にあるものがもつ魅力を理解している。 ②ICT を活用して調べたことを分かりやすくまとめている。	①木之本地区にあるものの魅力を、自分なりの言葉で表現している。	①木之本地区にあるものに関心をもち、魅力を発見しようとしている。 ②木之本地区の魅力あるものを未来へ伝え残していこうとしている。

5. 単元の指導計画（全10時間）

	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○校外学習で杉野地区へ行った時に見たものを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなイチョウの木を見た。 ・杉野川が真ん中を流れていた。 ・杉野小学校の校舎はきれいだった。 <p>○「杉野百景」を見て、どのような人たちのどのような思いから「杉野百景」が作られたのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の杉野の様子を、若い人たちにも知ってほしかったのかな。 ・大切にしてきたものをずっと残したいと思ったのだろう。 ・木之本小学校の周りも、変わってしまうかもしれないな。 ・私たちも「木のっこ百景」を作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉野地区へ校外学習に行った時の写真を提示して、どんなものがあったか思い出せるようにする。 ・全員が「杉野百景」を見られるように、タブレットに配信する。 ・「杉野百景」に登録されたものの背景を考えさせる。 ・自分たちにも、未来に残していきたいものがあるか考えさせる。 	ウ①
<p>杉野百景とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉野中学校で2016年から2019年まで、総合的な学習の時間で取り組まれた。 ・地域の人たちからも候補を募集し、全部で100候補地ほどになった。 ・地域の人たちの協力もあり、文化財などの貴重な資料を見せていただくこともあった。 ・2019年、木之本中学校との統合に伴う閉校により、No. 35で取り組みを終えた。 			
2 ～ 4	<p>○登録の基準について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある古いものが多い。 ・地蔵縁日みたいな行事も候補に入れよう。 <p>○木之本地区の自然や文化財について話し合い、登録する候補を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉野百景」には文化財だけでなく、自然や行事も登録されていることに気づかせる。 ・地域の観光パンフレットなどを用意し、調べられるようにする。 	ア① イ①

	<ul style="list-style-type: none"> ・木之本地蔵と地蔵縁日は絶対に登録したいな。 ・つるやパンはずっと無くなってほしくない。 ・古い醤油屋さんがある。 <p>○グループに分かれて「木のっこ百景」に登録するものについて調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の校外学習で取り組んだ町探検の時のことなどを思い出させる。 	
5 ～ 9	<p>○調べたことを、グループごとにまとめる。</p> <p>○まとめたものを使って、木之本の魅力を他の学年に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を作ってみてもらうのはどうだろう。 ・学習室で写真展を開こう。 ・どんなものを登録したか、全クラスに説明しに行こう。 ・後輩たちにも取り組みを続けていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用して、調べたことを分かりやすくまとめさせる。 ・他学年にも見てもらえるように、「木のっこ百景」を紹介する方法を考えさせる。 	ア① ア②
1 0	<p>○「木のっこ百景」に登録したものを未来に伝えていくために、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木之本のためにできることを、これからも考えていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを始める前と取り組んだ後の自分の気持ちの変化について考えさせる。 	ウ②